



# 03

## 市立高校のこれまでの取組

1.当時の課題

- 高校への進学率が97%、生徒の能力・適正、興味・関心、進路希望の多様化、生徒数の減少高校は生徒によって選ばれる時代に突入。
- 一人ひとりの個性を最大限に伸長させるため、学校の選択幅をできる限り拡大し、多様な特色ある学校づくりを進めることが必要。
- 道内に、道立、私立、市立高校がある中で、市立高校の存在意義を明確に示すことが必要。

2.特色ある市立高校づくりの指針

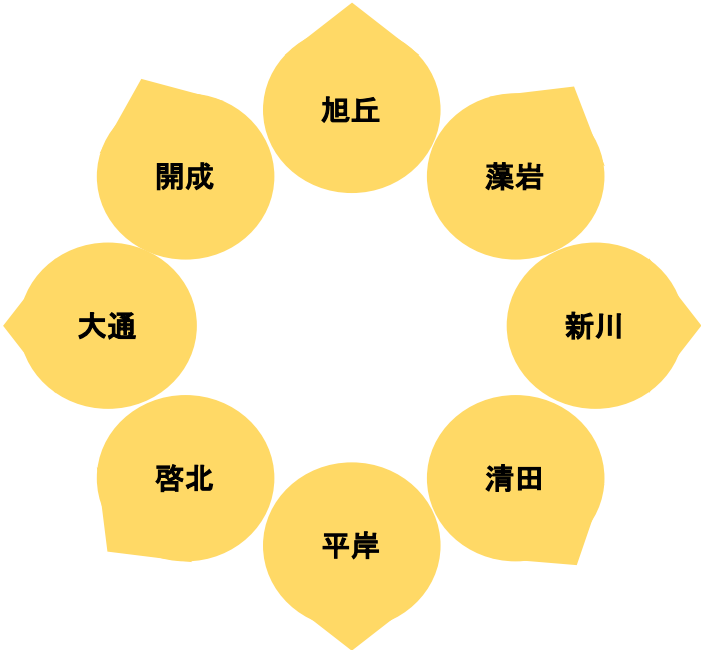
| 課 程 | 学校名  | 制度導入                    |
|-----|--|-------------------------|
| 全日制 | 旭丘高校<br>開成高校<br>藻岩高校<br>清田高校<br>新川高校<br>平岸高校<br>啓北商業 | 普通科 単位制                 |
|     |  | 国際学科                    |
|     |  | 普通科<br>・専門コース<br>・一般コース |
|     |  | 学科改編                    |
| 定時制 | 星園高校<br>新川高校<br>平岸高校<br>啓北商業                         | 新しいタイプの定時制              |



3.推進計画

旭丘高校は2004年、清田高校(グローバルコースの設置)、平岸高校(デザインアートコースの設置)、啓北商業高校(未来商学科に転換)は 2005年、藻岩高校(環境教育)は 2006年、大通高校(三部制・単位制・定時制)は2008年、新川高校(フロンティアエリア)は 2009年をもって制度改革を実施。

| 課程   | 学校名  | 制度導入  | 設置年  |
|------|--|---|--|
| 全日制  | 旭丘高校<br>清田高校<br>平岸高校<br>啓北商業<br>藻岩高校<br>新川高校 | 単位制の導入<br>グローバルコース<br>デザインアートコース<br>未来商学科の開設<br>環境教育<br>フロンティア制 | 2004年～<br>2005年～<br>2005年～<br>2005年～<br>2006年～<br>2009年～ |
| 定時制  | 大通高校   | 単位制・三部制   | 2008年～   |
| 中高一貫 | 開成中等   | 市立初の<br>公立中高一貫教育  | 2015年～   |



## 4.市立高校全校共通の取組(市高スタンダード)

### ① 学校教育相談体制の充実

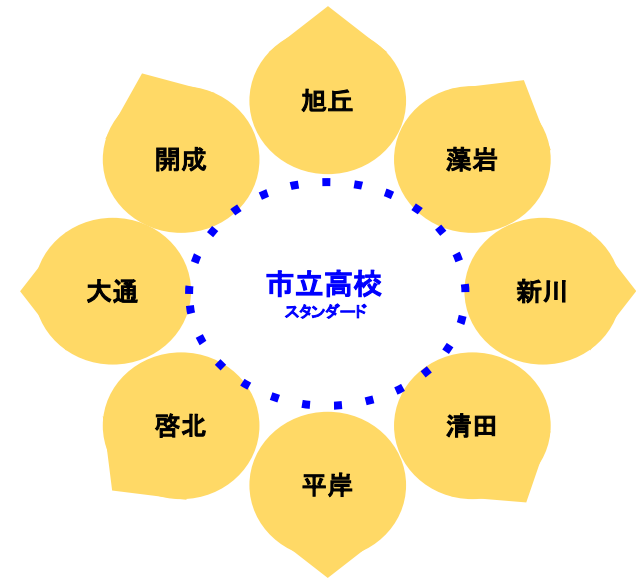
- 学校生活や対人関係など様々な要因により、学びに悩みを抱える生徒など、支援を必要とする生徒に対して、適切な学習支援や相談支援等を実施。
- 生徒の個別の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援を行うため、通級指導教室における指導体制の充実などにより、多様な学びの場を整備するなど、支援を必要とする生徒が安心して学ぶことができる教育環境を整備。
- 国が進める共生社会の形成に向けて、障がいのある生徒とない生徒が共に学ぶ機会などを拡充するため、市立高校と特別支援学校高等部との授業を含めた連携を推進。

### ② 進路探究学習の充実

- 主体的に自己の進路を選択できる能力を高め、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための資質・能力を育成。

### ③ 国際理解教育の充実

- 外国語教育の充実のほか、国際バカロレア教育の更なる推進や、様々な国籍の外国人留学生などとの交流事業であるグローバルキャンプの実施などを通して、豊かな国際感覚や異文化を理解し協調する態度、課題発見解決能力や英語を中心とした実践的コミュニケーション力などを伸ばす。



## 札幌市立高校の教育改革が目指す姿・基本的方向性

### 目指す生徒像

夢や希望の実現に向かって、主体的に学び、探究する生徒・個性や多様性への寛容さを持ち、他者と協働し、新しい価値を創造する生徒・積極的に社会と関わり貢献する生徒

### 市立高校の将来像

生徒の主体的で探究的な学びを促す、魅力的な学びの場・様々な差異を超えて、多様な生徒が共に学び、支え合い、成長することができる学びの場・地域、企業など社会との関わりを通して成長できる、社会に開かれた学びの場

### 基本的方向性

- ・生徒の個性や能力を伸ばす質の高い教育の充実
- ・社会に開かれた教育活動の推進
- ・学校の取組を支える仕組みの構築

※ 市立高校教育改革方針 別紙参照 市立高校教育改革方針(改定版)【概要版】

## 現行の学習指導要領本格実施

小学校では2020年度、中学校では2021年度、**高校では2022年度から**段階的に全面实施

# 「新しい学び」とは

知識・技能(技術)の習得だけでなく、思考力・判断力・表現力そして学びに向かう力・人間性などを総合的に育むことを目指す。

**コンテンツ** (知識・技能(技術)) + **コンピテンシー** (資質・能力)

→ 教育の中に「**本物の経験**」を取入れる課題探究的なプロジェクト型の学習を推進

「プロジェクト学習とは、実世界に関する解決すべき複雑な問題や問い、仮説を、プロジェクトとして解決・検証していく学習のことである。学生(生徒)の自己主導型の学習デザイン、教師のファシリテーションのもと、問題や問い、仮説などの立て方、問題解決に関する思考力や協働学習等の能力や態度を身につける。」

学校法人桐蔭学園理事長 溝上 慎一

# 市立札幌旭丘高等学校

開校年月日 昭和33年(1958年)4月 学科・1学年の定員 全日制普通科・240人 数理DS科・80人

# 単位制

# 数理データサイエンス

## スクール・ミッション

- ・未来社会を切り拓くための知識や技能、学び方を習得し、それらを自らの生き方や社会に活かす力を育成する学びの場
- ・高く理想を掲げ、豊かな見識や感性、科学的な見方により、他者と協働して社会の発展に貢献できる人材を育成する学びの場

市立札幌旭丘高等学校

進学重視型単位制

## 数理データサイエンス科

単位制による全日制課程(2クラス80名)

データサイエンスを学習のエンジンとし、  
理数分野(理科・数学・情報)を中心に幅広く教養を高め  
学問・産業・社会的課題解決(SDGs)に貢献する  
人材を育てる理数系の学科です。

令和4年4月開設





# 市立札幌藻岩高等学校

開校年月日 昭和48年(1973年)4月 学科・1学年の定員 全日制普通科・240人

## スクール・ミッション

- ・自己の未来を思い描き、自らの選択と決定による主体的かつ意欲的な学びを実現し、持続可能な社会の実現を目指して行動できる人物を育成する学びの場
- ・地域と連携・協働した探究的な学びや体験を通じて、未知なる状況から課題を発見し、解決する力を磨くとともに、未来に向けた新たな価値を共創することのできる学びの場

## ・MSPとは

M 藻岩(Moiwa) × 南区(Minami-ku)

S 笑顔(Smile) × 持続可能(Sustainable)

P 計画(Project) × 人々が集まる場(Platform)





## 市立札幌新川高等学校

# フロンティアエリア制

開校年月日 昭和54年(1979年)4月 学科・1学年の定員 全日制普通科・320人

### スクール・ミッション

- ・フロンティア精神をもって、自分を鍛え磨く生徒を育成する学びの場
- ・小学校、中学校、大学との連携を学習活動と結び付けることにより、社会人基礎力を育成するとともに、生涯にわたる持続的な学びを実現し、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する学びの場



## 市立札幌清田高等学校

開校年月日 昭和50年(1975年)4月

学科・1学年の定員 全日制普通科普通コース・200人 グローバルコース・40人

# 単位制

# グローバル教育

### スクール・ミッション

未来に向かって、自ら考え、自ら学び、寛容な心で世界と協働し、積極的に社会に貢献する人材を育成する学びの場





## 市立札幌平岸高等学校

# デザインアート

開校年月日 昭和55年(1980年)4月

学科・1学年の定員 全日制普通科普通コース・280人 デザインアートコース・40人

### スクール・ミッション

コース制での学びを通して、義務教育とのつながりを大切にしながら、魅力ある地域の創造や発展に貢献しうる知性と感性豊かな発信力のある人材を育成する学びの場



# 市立札幌啓北商業高等学校

# 未来商学科

開校年月日 昭和16年(1941年)4月 学科・1学年の定員 全日制未来商学科・240人

## スクール・ミッション

- ・商業高校での「学び」を通して、マネジメント能力を身に付け、多様な社会の中で、自ら新たな価値を創造できる人材を育成する学びの場
- ・学校と地域でつくる学びに主体的・積極的に取り組み、課題を探究しながら仲間と共に歩み成長できる人物を育成する学びの場
- ・札幌の地域資源を活用し、持続可能な地域・社会の発展にビジネスの視点から貢献できる人材を育成する学びの場





# 市立札幌大通高等学校

開校年月日 平成20年(2008年)4月 学科・1学年の定員 定時制普通科・320人

# 三部制  
# 単位制  
# 定時制

## スクール・ミッション

- ・生徒一人一人の個性・能力を伸ばし、自らが目標に向かって挑戦することができる学びの場
- ・生徒一人一人の社会的・職業的な自立に向けて、自らが主体的に生き方や将来を探究することができる学びの場
- ・生徒一人一人の社会性を育み、自らが積極的に考えを表現し、他者との豊かな人間関係を構築することができる学びの場



## 市立札幌開成中等教育学校

# 国際バカロレア  
# 中高一貫教育

開校年月日 平成27年(2015年)4月 学科・1学年の定員 全日制コズモサイエンス科・160人

### スクール・ミッション

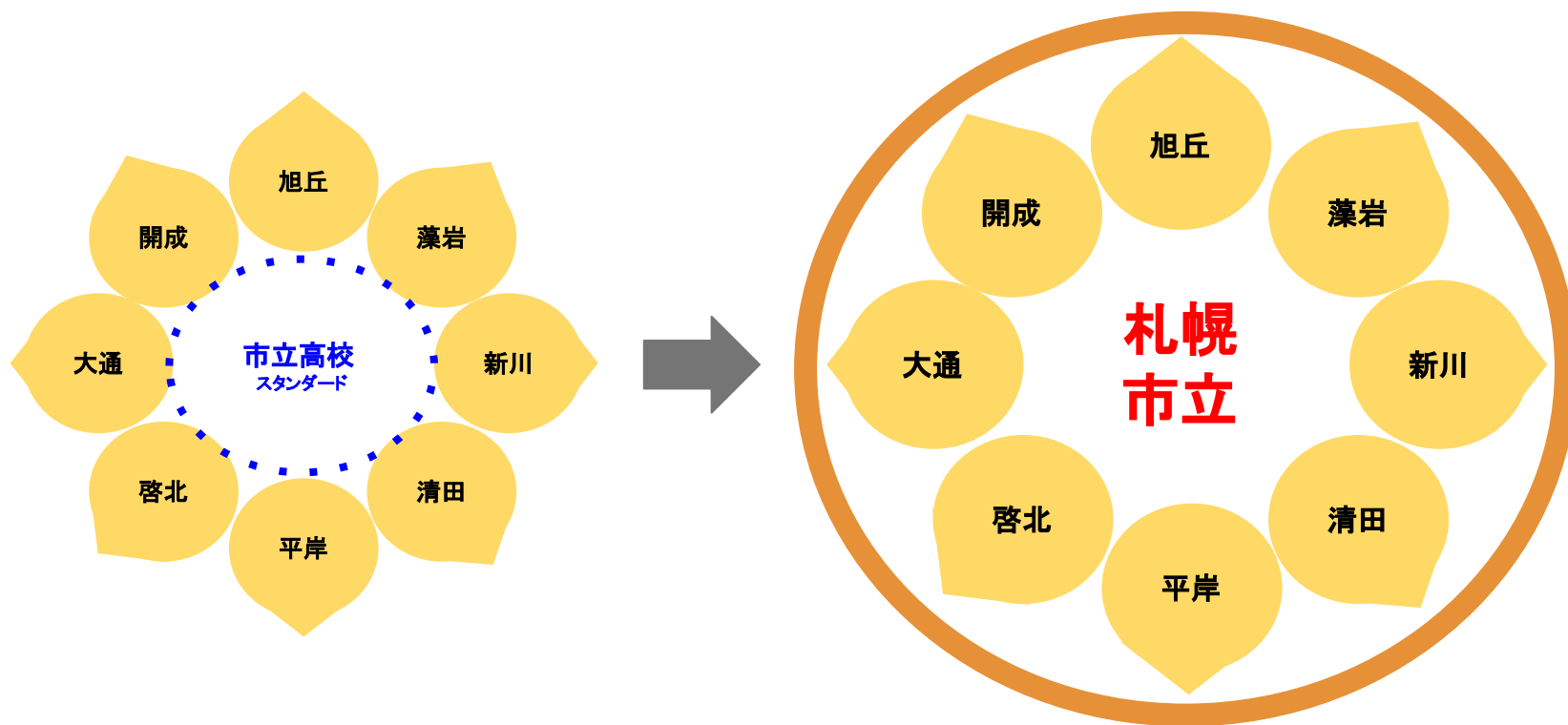
6年間の連続した国際バカロレア (IB)の教育プログラムの活用による課題探究的な学習を生かして主体性を育み、国際的な視野で将来の札幌や日本を支え、活躍できる人材を育成する学びの場





## 各校の特色を活かしつつ、互いの教育資源を共有し、市立高校ならではの実践を推進

市立高校各校の強みを活かし、生徒の多様な学習ニーズに応え、主体的に学習に取り組む意欲や態度の育成を図るとともに、他校の生徒との交流・学びあいの機会を設けるなど、市立高校が一体となって推進してきた。



## 1.進路探究セミナー

市立高校に入学した生徒たちが、将来の生き方や進路について考えることを目的として開催。

- 会 場  
北ガスアリーナ（中央区北4条東6丁目2）
- 内 容
  - 第1部:市立高校の説明
    - ・進路探究セミナーの説明  
「轍(過去－現在－未来)」～市立高校でできること！～  
キーワード #主体性 #挑戦 #つながり
    - ・学校間連携指定事業紹介 アニマドーレ、まなびまくり社、FutureSkill+まち政
  - ・市立高校プレゼンテーション大会出場生徒発表(平岸 高校、藻岩高校)
    - 「自分カード」 画用紙に「私の自慢、特技」「私はこういう人」「私の将来」
    - 「私の夢」「高校でしたいこと:などを記入
- 第2部:フォーラム & 全体ワークショップ
  - ・「私の夢・生き方の理想」



## 2. 学校間連携指定事業

### 市立高校生が相互に交流し、その成果を単位認定できる仕組み

#### 1 基本方針

市立高校で既に取り組んでいる事業の中で、生徒間交流ができて、学校外の学修の成果として単位認定できるものを「市立高校学校間連携指定事業」に指定して、全市立高校に周知している。

#### 2 令和7年度 市立高校学校間連携指定事業

##### ・指定の条件

- 次の要件を満たす事業を市立校長会が学校間連携事業として指定する。
- ・既存事業として実績があるなど、市立高校の生徒が参加して互いに生徒間交流ができること。
- ・事業の目的、実施時数及びその内容が、学校外の学修の成果として単位認定できること。
- ・事業を担う主たる担当者（以下「主担当者」）を必要とする場合は、あらかじめ全体に関わる業務を担うことへの了解が得られていること。

#### 3 学校間連携事業一覧

- (1) ポートランド派遣事業
- (2) 市立大学看護学部と市立高校との高大連携事業
- (3) 食農体験講座 アニマドーレ《大通》
- (4) まちづくり講座 まなびまくり祉藻岩
- (5) 「ちえりあ」の学社融合講座
- (6) ミラスキ！（起業家養成プログラム）《啓北》



## 3.市立高校プレゼンテーション大会

市立高等学校、市立中等教育学校(後期課程)、市立特別支援学校高等部(以下「市立高校等」という。)の生徒が、自己の学びや経験等を基に、在籍する学校や学習活動について、生徒目線による新たな市立高校等の魅力を発掘し、発表することで、これらを発表者と他の市立高校等の生徒間で共有し、互いに学び合う機会とする。

また、高校生が中学生や市民に向けて、市立高校等の魅力、特色等を伝える経験を通じて、学校での学びや成長について一層理解を深めるとともに、より多くの中学生が市立高校等への興味・関心を高め、自らの進路を主体的に探究する契機とする。

このほか、将来の札幌を担う若者の意見をまちづくりに反映することで、若者のまちづくりへの参画、さらには、まちへの愛着の醸成につなげていく機会とする。

### ○ 会 場

札幌文化芸術交流センターSCARTS1・2階

### ○ 発表内容・発表方法

- A 私の高校生活(ステージ発表)
- B 各学校の探究学習の成果発表(ポスターセッション)
- C 学校紹介(ステージ発表)
- D 学校間連携指定事業・市立高校特別プログラムの成果発表(ステージ発表)
- E まちづくりコンペティション(ステージ発表)



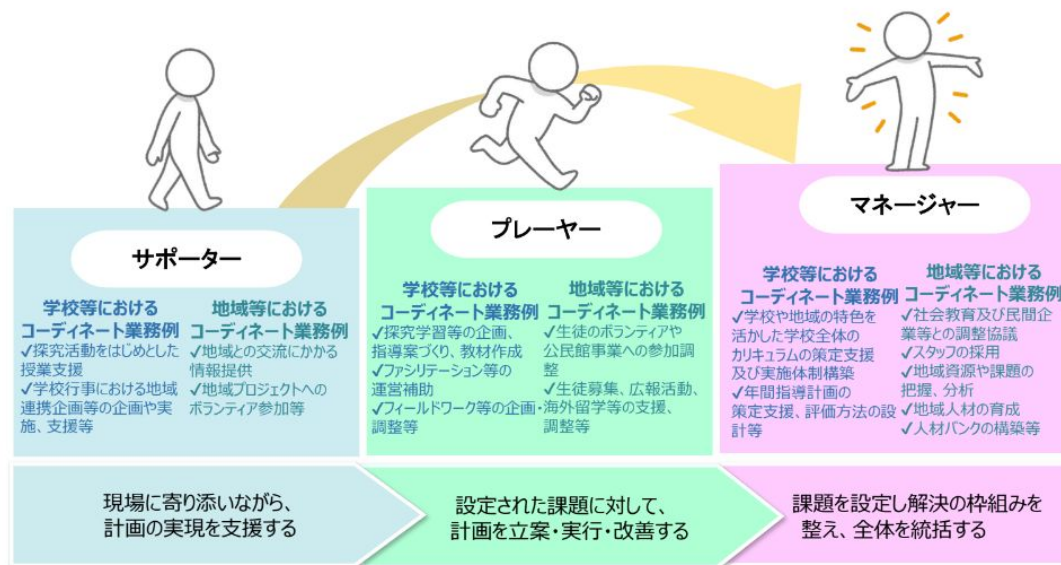


# 学校と地域をつなぐコーディネーター設置(令和6年～)

## 1.主な活動内容

現在はコーディネーター3団体、コンシェルジュ1団体を配置し、地域や企業、大学等との連携を一層強化するとともに、地域・企業などの学校運営への参加を促進するなど、社会に開かれた教育課程や地域創生の核となる市立高校の実現に向けた取組を推進している。

- ①地域社会と関わる教育課程の企画・運営・支援
- ②地域資源の掘り起こし及び学校・地域との連絡調整・情報提供
- ③大学・民間企業との連携・協働
- ④地域連携組織体制(コンソーシアム)の構築にかかる検討支援
- ⑤その他、コーディネーターの配置目的の達成のために必要な事項



2.各校の特色・魅力をさらに高めるための人材配置

コーディネーターの活用により、学校の魅力化・特色化が図られている中で、引き続き学校と地域との連携協働体制に向けた検討を進めていく必要がある。





## 市立札幌彩輝高等学校

開校年月日: 令和9年(2027年)4月 学科・1学年の定員: 普通科200人、商業科120人

市立札幌藻岩高等学校と市立札幌啓北商業高等学校を発展的に再編し、令和 9年度に現藻岩高等学校敷地に新設予定。令和4年度策定の「(仮称)藻岩高等学校・啓北商業高等学校再編新設校 基本構想・基本計画」に基づき、令和 5年4月より基本設計に着手。現在は藻岩高校内に再編準備担当課を設置し、検討を進めている。

2校の選定理由としては、両校ともに南区に位置し、南区からの入学者割合が大きく、中学校卒業者数減の影響を大きく受ける見込みであることや、どちらも市立高校の今後の在り方に対応する地域課題探究を実践していること等があった。また、藻岩高校の校舎が築 48年と老朽化が進んでおり、改築や改修が必要であることも対象校の一因となった。

### スクール・ミッション

地域・社会に学び、対話と挑戦を核に、探究と実学を通して学びを深め、  
本物の経験を積み重ね、多彩な未来を創れる人を育成する学びの場。

